

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net> E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円(年額)
*会員には、本道書を配布します。



<6/10・「新たな小学校を」>

来春開校予定「まおい学びのさと」の発信・普及・支援の呼び掛けを、札幌りんゆうホールで開催。代表やパネラー3名・映像を共有しました
◇下の写真:自由が丘月寒スクールで「魚のさばき/解剖」の様子。生徒達が生き物を触り調理です。

INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマンラスト/講座4、他
- p3: 学校設立運動
- p4-5: 自由が丘ヒストリー、実習
- p6-7: スクール運動会、初等部
- p8: エッセー、カレンダー、後記
[チラシ、案内他]

「《へいわ》を導くための取り組み」

認定NPO法人・代表理事 吉野 正敏

今起きているロシアの侵略戦争は明らかに国際法違反です。権力者が「戦さ」を「正当化」する理由づけは、かつての世界大戦の諸国(日本含む)の祖国防衛・他国解放の「正義論」を彷彿させます。併せて、北朝鮮のミサイル発射、中国の東南アジア海洋基地化、ミャンマーの軍事クーデターなども近現代民主主義や平等互惠から逸脱した様々な非人道的暴力です。

これらに対峙するには、力には力で対抗せんと短絡的に軍備増強を加速させるのではなく、国連憲章(に基づく履行)や外交・経済(+文化芸術)を中心とする国際的協調~各国地域や地球規模の連携を追求せねばなりません。前者は一見判り易い中に潜む再現のない軍拡競争や軍需産業が優位して生活圧迫をもたらしますが、後者は幾多の歴史教訓を踏まえて人類が暴力や軍隊のみによらない防衛・共存のあり方をめざす道です。(非生産的武器は資源浪費であり、その使用は地球環境をも破壊する

・核兵器使用に勝者はいない。同じ種が殺戮を目的とするのは他生物にはない。人類の叡智はどこに)

6月21日、核兵器禁止条約の第1回締結国会議が開催され、良識ある国と市民団体の叡知が表明されました。さらに23日、沖縄慰霊の日に小学2年生「こわいをしてへいわがわかった」の詩は人間尊重の気持ちが素直に語られました。他方、現政権はアメリカの核の傘抑止力のもと上記会議に不参加*、基地負担の早期削減に耳を傾けません。被爆国であり、第二次大戦の教訓から今の憲法九条があることをないがしろにする時、次の大戦の始まりを危惧する時代を招きます。そうしないためにも、民主的社会形成、とりわけ子ども達を大事にする教育を発展させねばと思います。

注:G7(サミット)が開催されているドイツでは軍事中心の大国動向に市民からの抗議集会も見られます。この戦争下、千万規模の難民や食糧・エネルギー危機を打開するため、国連・大国が外交力を発揮せねば、日本も同様です。